

群馬県議会 リベラル群馬

街頭演説 700日 県政の革命児!

後藤かつみ

県議会だより

vol.13

発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所
住所 高崎市八幡町800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com

http://www.ccrgoto.com/

厚生文化常任委員会に所属

障害者、自殺対策を現場の視点から提言

発達障害者支援、

県の役割を質す

法律が出来て5年程度という歴史が浅く、保育・教育現場での認識が定着しているとは言い難い、発達障害者支援を切り口に、県の役割を質しました。

急増した原因を捉えた

自殺対策を提言

後藤は、障害者の支援を行っている施設や団体の現場から様々な問題点を聞き取り、議会で取り上げました。発達障害は、身体・

自殺者数は、H10年を区切りに全国3万人台に急増し、その多くが中高年に集中しています。後藤は、このこ

とから、急増した原因は、企業環境・経済的環境にあることを指摘し、ここに焦点を置いた対策が必要であるこ

とを提言しました。具体的には、①失業者や多重債務者などの「ハイリスク者」をハローワークや行政窓口でフォローし、生活再建に向かわせるための対策を強化する。②企業環境が厳しさを増し、精神疾患者が急増していることから、特にメンタルヘルス対策が行えない中小企業を中心に県が支援する。といった対策を早急に行うことを提言しました。



福島みずほ大臣を招き、重度知的障害者施設を視察



自殺対策の最前線で取り組む、産業カウンセラーの現場を視察

県政改革、新たなステージへ

政務調査費100%透明化、4月よりスタート

政調費1.6億円

09年度県議の収支報告書

妻同伴の視察旅行も

県議会は16日、議員の調査研究のために支給された政務調査費の2009年度分の収支報告書を公開した。最大大会派の自民党(09年末まで29人、今年から31人)は延べ7人が海外視察するなどして1億620万円を全額支出。1月から自民党に合流したポラリスの会(2人)も9月で540万円を使い切った。

妻同伴の金子氏

「運転手頼んだ」

取材後に修正手続き

自民党の金子浩隆議員(50)が北陸方面に視察旅行した際、妻を同伴し、夫婦2人分の宿泊費を政務調査費から支出していたことが分かった。

金子浩隆議員は昨年9月、大型観光キャンペーン「新潟デザインেশョンキャンペーン」の視察を目的に、新潟、福

島岡県を訪問。自宅のある沼田市から車で出かけた。

金子浩隆議員の説明によると、政調費の支出が認められている「政務調査補助員」を運転手として同行させる予定だったが、急ぎよられなくなったため、「妻に運転手役を頼んだ」という。

金子浩隆議員は新潟市内のビジネスホテルに夫婦で宿泊。2人分の宿泊費1万4545円を政調費で全額請求した。金子浩隆議員は16日、朝日新聞の取材後、宿泊費の半額のみ請求する修正手続きをとった。

問題ある使途の実態が明らかに

県議会の最大のタブーであった政務調査費の透明化も、4月より100%透明化が実現しました。

政務調査費が本来の目的に沿った活動に適切に使われているのかに注目が集まる中、マスコミ報道でも問題ある使途の実態が明らかになってきました。

県議の最大の「特権」「旨味」と言われてき

改革は新たなステージへ

後藤かつみは、改革の手を緩めることなく、次の一歩として「県民目線の議論」が行われる議会を目指します。

先の2月予算議会では、リベラル群馬が予算修正案を提案し、会派同士が「どちらが県

目線」の議会改革に向け、極めて大きな一歩を踏み出したものと言えます。

民目線に立った予算なのか」を巡って激しい論戦を繰り広げました。

このように、リベラル群馬は「役人任せ」から脱却し、議員自ら条例・予算案を提案していく議会活動を目指していく所存です。